2026.10.04 @京都府医師会館
第52回京都医学会 ランチョンセミナー

脳卒中医療　原点回帰、そして未来へ

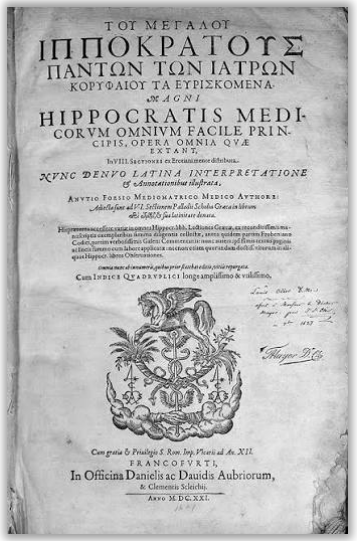
～京都府脳卒中登録事業37年間のキセキ～

京都府脳卒中登録事業委員会　委員長
医療法人 冨井医院　内科・脳神経内科
冨井　康宏

Tomii Clinic

『脳卒中』はこうして生まれた

西　洋


ΤΟΥ ΜΕΓΑΛΟΥ
ΙΠΠΟΚΡΑΤΟΥΣ
ΠΑΝΤΩΝ ΤΩΝ ΙΑΤΡΩΝ
ΚΟΡΥΦΑΙΟΥ ΤΑ ΕΥΡΙΣΚΟΜΕΝΑ
HIPPOCRATIS MEDICORVM OMNIVM FACILE PRINCIPIS, OPERA OMNIA QVÆ EXTANT,
FRANCOFVRTI,
In Officina Danielis ac Dauidis Aubriorum,
& Clementis Schleichij.

ヒポクラテス集典
Corpus Hippocraticum

『箴言 Aphorisms』
第2巻・第51条

Apoplexy

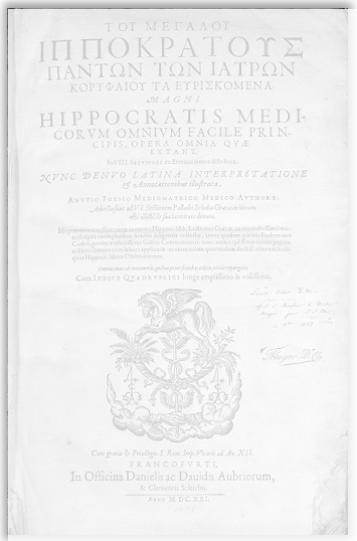
健康な人が**突然**頭痛に襲われ、直ちに言葉を失い、いびきをかいて**倒れる**。そのような者は７日以内に死亡することが多い。ただし発熱が起これば助かることがある。

- ✓ 40～60歳に発症しやすい
- ✓ 雨の多い年に多い
- ✓ 冬に多い

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀

西　洋



ヒポクラテス集典
Corpus Hippocraticum

『箴言 Aphorisms』
第2巻・第51条

Apoplexy

健康な人が**突然**頭痛
直ちに言葉を失い、
かいて**倒れる**。その
は７日以内に死亡する
多い。ただし発熱が起
助かることがある。

✓ 40～60歳に発症しやすい
✓ 雨の多い年に多い
✓ 冬に多い

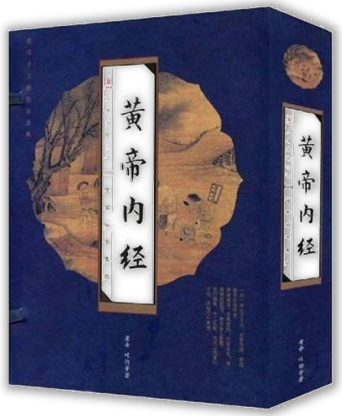
東　洋

中風

風者は百病の長である。

邪気が経絡に**侵入**すると
麻痺を生じる。

卒中風



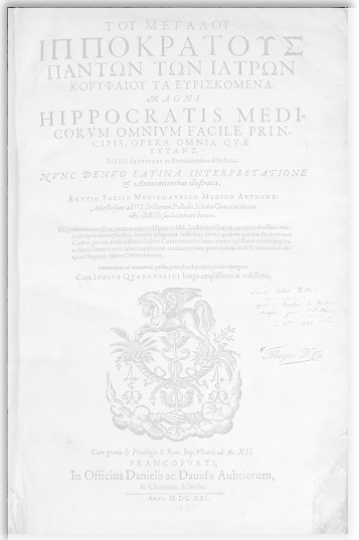
黄帝内経

『素門』
風論篇、調経論

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀

西　洋



ヒポクラテス集典
Corpus Hippocraticum

『箴言 Aphorisms』
第2巻・第51条

東　洋

中風

風者は百病の長である。

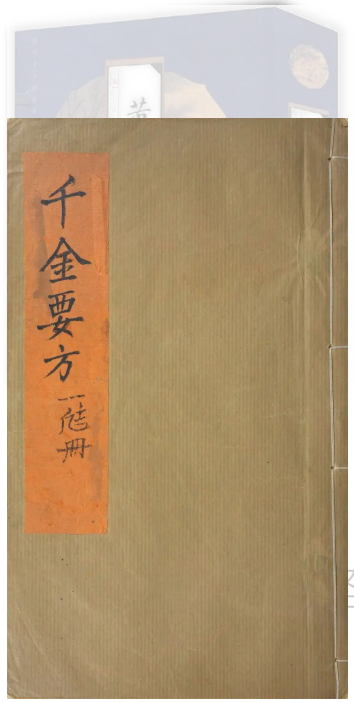
邪気が経絡に侵入すると麻痺を生じる。

↓

卒中風

↓

卒中



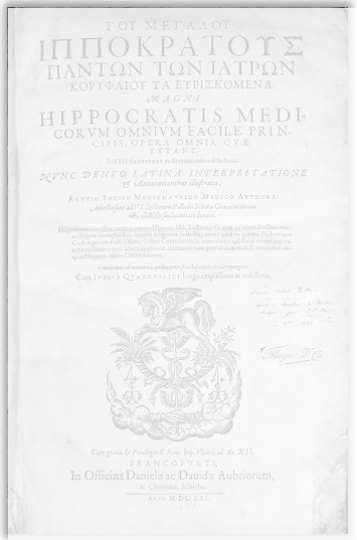
千金要方
(孫思邈, 652)

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀

西　洋

東　洋



ヒポクラテス集典
Corpus Hippocraticum

『箴言 Aphorisms』
第2巻・第51条

Apoplexy

突然に倒れた

【 症候 論】

卒中(風)

風邪が侵入した

【 病因 論】

“脳” が原因とは、
考えられていなかった・・・

千金要方
(孫思邈, 652)

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀

西　洋

東　洋

Apoplexy

卒中(風)



Historiae Apoplecticorum
(Johann Jakob Wepfer, 1658)

Cerebral Apoplexy

病理解剖の多数例で、
Appoplexyは脳出血と示した。

一方、脳出血がない例もある。
脳への血流が途絶えたら、
Appoplexyが起こりうる。

千金要方
(孫思邈, 652)

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀

西　洋

東　洋



John Cheyne



Astley P Cooper

Apoplexy

卒中(風)

Cerebral Apoplexy

脳出血 by Wepfer

Serous Appoplexy

頭蓋内に体液が貯留し、
脳に浮腫を生じる。

内頸動脈を結紮すると、
Appoplexyが起こる。



千金要方
(孫思邈, 652)

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀

西　洋

東　洋



Rudolf Virchow

Apoplexy

卒中(風)

Cerebral Apoplexy

脳出血 by Wepfer

漿液性脳卒中 by Cheyne

内頸動脈閉塞 by Cooper

Thrombosis/Embolism
Ischaemic appoplexy

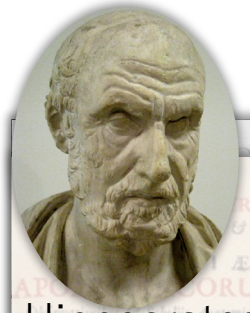
脳の血管が詰まる。

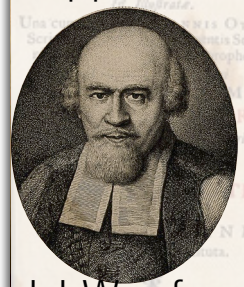


千金要方
(孫思邈, 652)

『脳卒中』はこうして生まれた

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀


Hippocrates


J J Wepfer


Rudolf Virchow

西　洋

Apoplexy

Cerebral Apoplexy

脳出血 by Wepfer
脳梗塞 by Virchow

東　洋

卒中(風)

これは**脳卒中**で
右半身不随になってゐます



(1916)

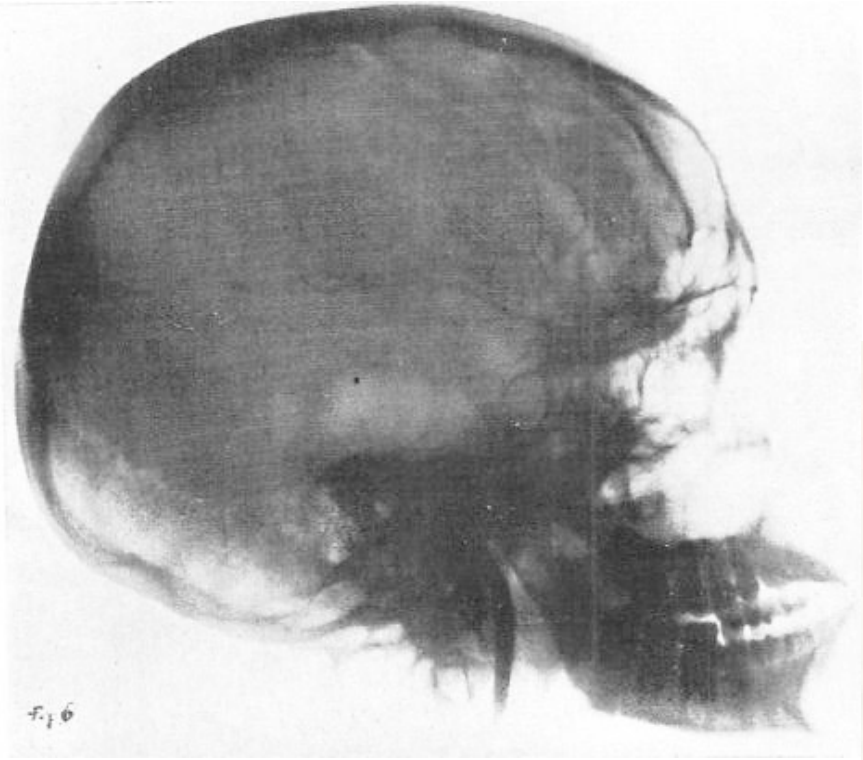
用 語

1929 ILCD-4	Apoplexy
1968 ICD-9	**Cerebrovascular Stroke**

検査① 脳血管撮影

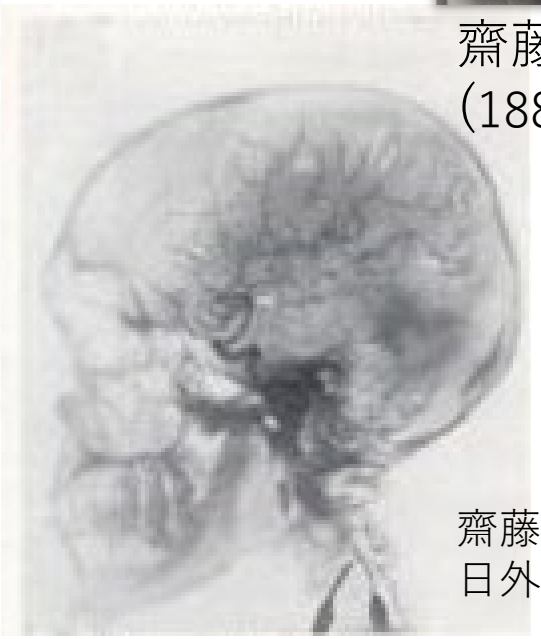


Egas Moniz
(1874-1955)





齋藤 眞
(1889-1950)



1927年

動脈性脳造影法：
その脳腫瘍局在診断における重要性

齋藤 眞：血管撮影法,
日外会誌 1937; 37: 1777-1791

Moniz E. Revue Neurol (Paris) 1927; 2: 72-90.

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代

検査② コンピューター断層撮影

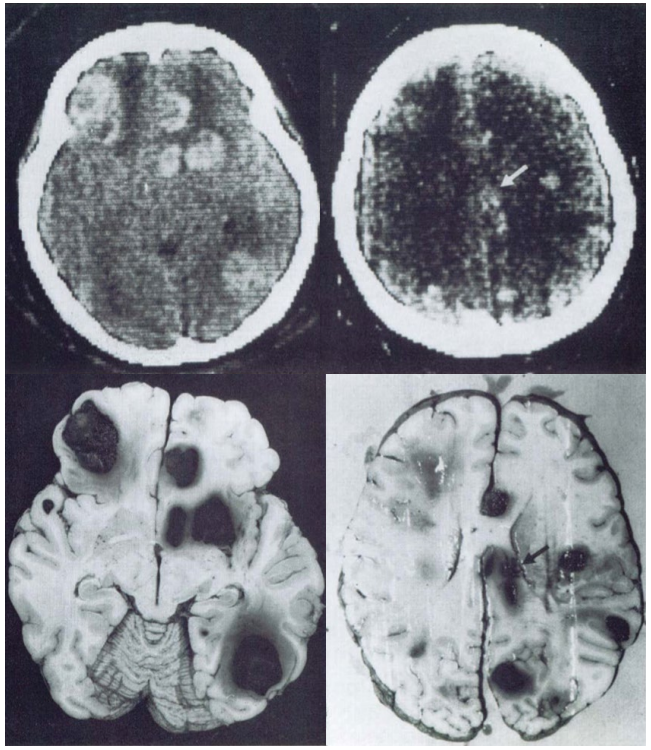


Hounsfield GF
(1919-2004)

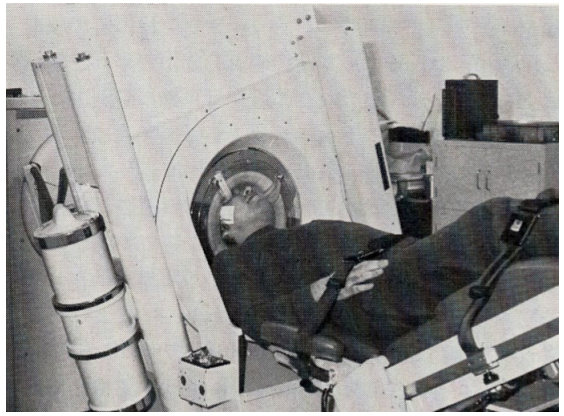


Cormack AM
(1924-1998)

Computed tomography: CT



1975年 日本で初
(東京女子医大)



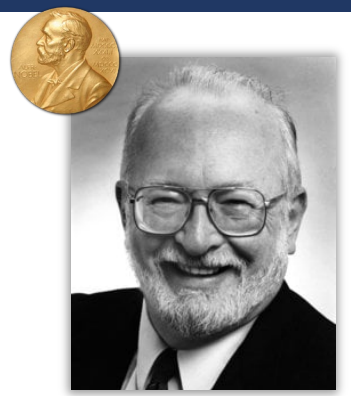
1967年

1972年 世界で初めて発売
(EMI社, 英国)

小野由子ら. 医用画像電子博物館, 2014.

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代

検査③ 核磁気共鳴画像法



Lauterbur PC
(1929-2007)



Mansfield P
(1933-2017)

Magnetic resonance imaging: MRI

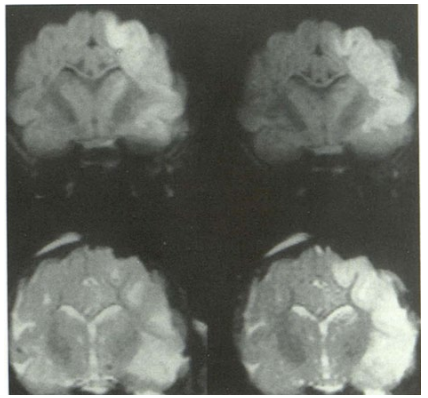


1983年 日本で初
(東京慈恵医大)



1970年

1983年 世界で初めて発売
(東芝, 日本)



1990年 拡散強調画像 DWI

荒木力. 新潟医学会雑誌 1990.

Moseley ME, et al. AJNR 1990.

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代

京都府脳卒中登録事業

健康福祉部
健康対策課

脳卒中登録事業
委員会

1988年　6月20日
準備委員会発足 開催 5回

1988年11月30日
登録事業委員会発足

宮田 健、池田 正之、
島村 修、清水 鴻一郎、他
[計11名]

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代

1989年

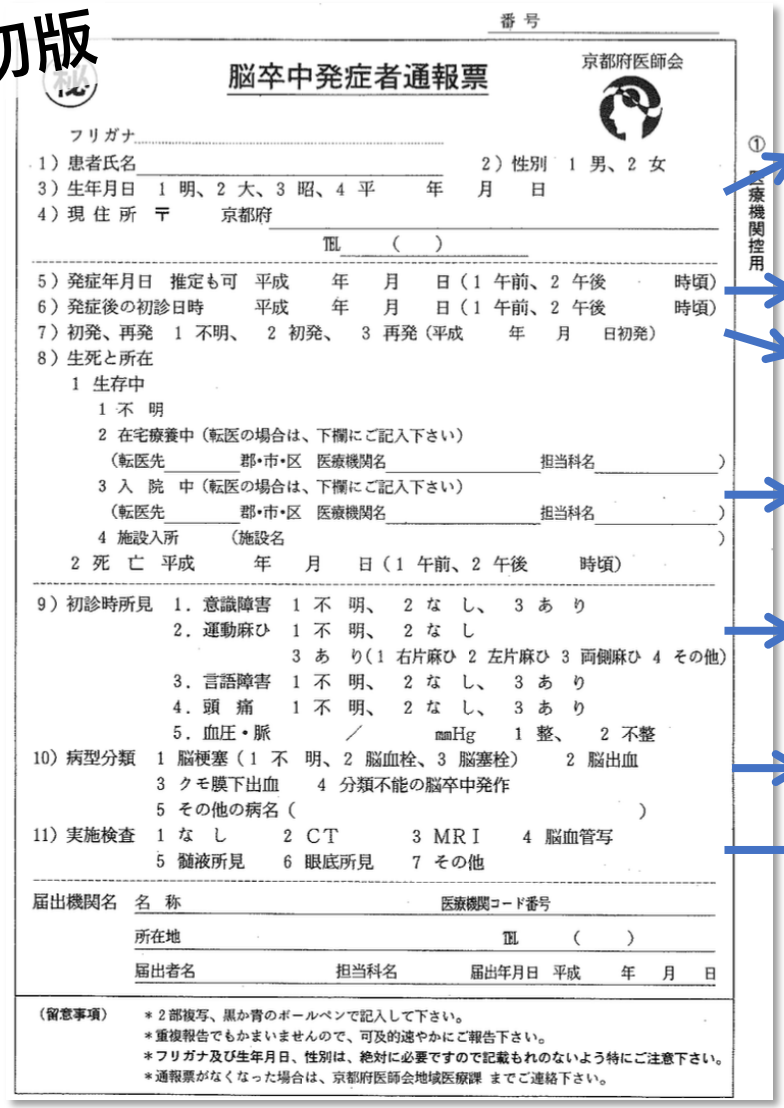
✓ 趣旨

脳卒中の患者を登録し、その**集計**及び**解析**を行うことにより、患者の実態を把握し、**予防対策等の推進**に寄与する。

島村 修. 京府医大誌 2011; 120: 224-231.

通報票 改メ 登録票

初版



番号

脳卒中発症者通報票

京都府医師会

フリガナ

1）患者氏名　　2）性別　1 男、2 女

3）生年月日　1 明、2 大、3 昭、4 平　年　月　日

4）現 住 所　〒　京都府

TEL　（　）

5）発症年月日　推定も可　平成　年　月　日（1 午前、2 午後　時頃）

6）発症後の初診日時　平成　年　月　日（1 午前、2 午後　時頃）

7）初発、再発　1 不明、　2 初発、　3 再発（平成　年　月　日初発）

8）生死と所在

1 生存中

1 不 明

2 在宅療養中（転医の場合は、下欄にご記入下さい）

（転医先　郡・市・区　医療機関名　担当科名　）

3 入 院 中（転医の場合は、下欄にご記入下さい）

（転医先　郡・市・区　医療機関名　担当科名　）

4 施設入所　（施設名　）

2 死 亡　平成　年　月　日（1 午前、2 午後　時頃）

9）初診時所見　1．意識障害　1 不 明、　2 な し、　3 あ り

2．運動麻ひ　1 不 明、　2 な し

3 あ り（1 右片麻ひ 2 左片麻ひ 3 両側麻ひ 4 その他）

3．言語障害　1 不 明、　2 な し、　3 あ り

4．頭 痛　1 不 明、　2 な し、　3 あ り

5．血圧・脈　／　mmHg　1 整、　2 不整

10）病型分類　1 脳梗塞（1 不 明、2 脳血栓、3 脳塞栓）　2 脳出血

3 クモ膜下出血　4 分類不能の脳卒中発作

5 その他の病名（　）

11）実施検査　1 な し　2 CT　3 MRI　4 脳血管写

5 髄液所見　6 眼底所見　7 その他

①医療機関控用

届出機関名　名 称　医療機関コード番号

所在地　TEL　（　）

届出者名　担当科名　届出年月日　平成　年　月　日

（留意事項）
＊2部複写、黒か青のボールペンで記入して下さい。
＊重複報告でもかまいませんので、可及的速やかにご報告下さい。
＊フリガナ及び生年月日、性別は、絶対に必要ですので記載もれのないよう特にご注意下さい。
＊通報票がなくなった場合は、京都府医師会地域医療課 までご連絡下さい。

患者個人情報

発症初診日時

初発・再発

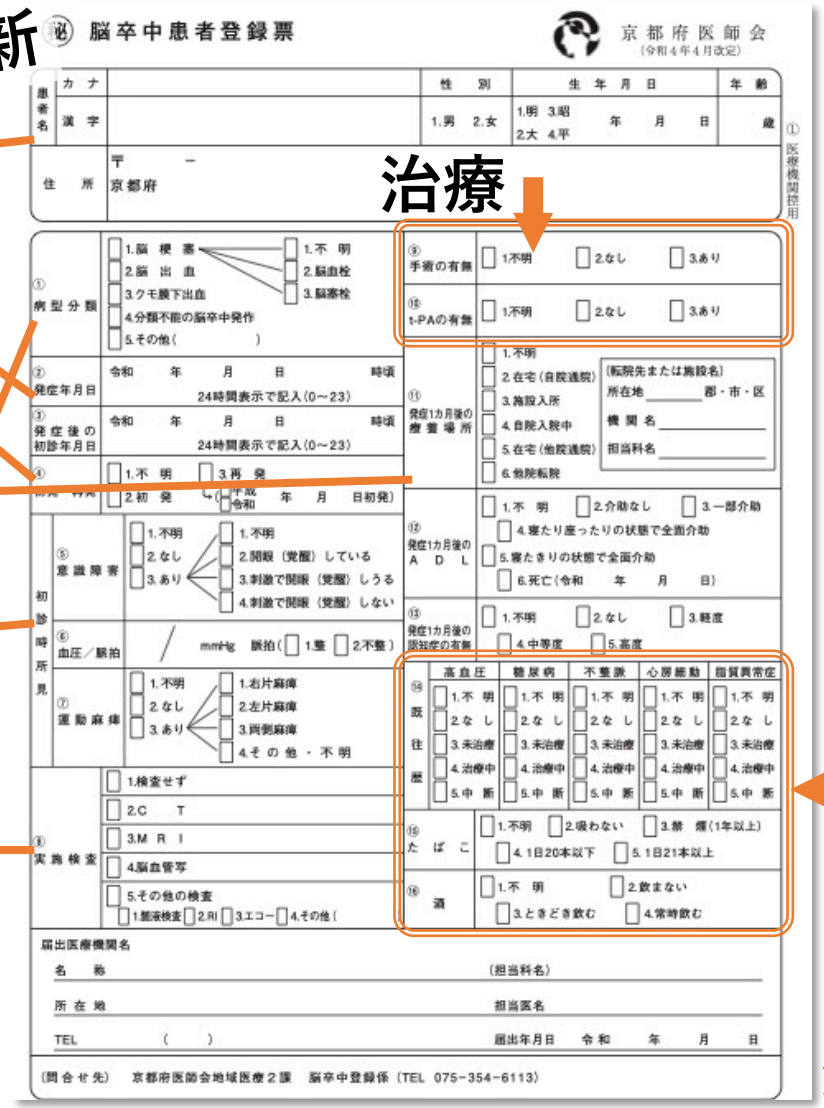
予後

初診時情報

脳卒中病型

検査

最新



脳卒中患者登録票

京都府医師会（令和4年4月改定）

患者名　カナ　漢字　性別　1.男 2.女　生年月日　1.明 3.昭 2.大 4.平　年 月 日　年齢　歳

住所　〒　京都府

①医療機関控用

①病型分類　1.脳梗塞 2.脳出血 3.クモ膜下出血 4.分類不能の脳卒中発作 5.その他（　）　1.不明 2.脳血栓 3.脳塞栓

②発症年月日　令和　年　月　日　時頃　24時間表示で記入（0～23）

③発症後の初診年月日　令和　年　月　日　時頃　24時間表示で記入（0～23）

④初発・再発　1.不明 2.初発 3.再発（平成 令和　年　月　日初発）

⑤意識障害　1.不明 2.なし 3.あり　1.不明 2.開眼（覚醒）している 3.刺激で開眼（覚醒）しうる 4.刺激で開眼（覚醒）しない

⑥血圧／脈拍　／　mmHg　脈拍（1.整 2.不整）

⑦運動麻痺　1.不明 2.なし 3.あり　1.右片麻痺 2.左片麻痺 3.両側麻痺 4.その他・不明

⑧実施検査　1.検査せず 2.CT 3.MRI 4.脳血管写 5.その他の検査（1.髄液検査 2.RI 3.エコー 4.その他）

治療

⑨手術の有無　1.不明 2.なし 3.あり

⑩t-PAの有無　1.不明 2.なし 3.あり

⑪発症1カ月後の療養場所　1.不明 2.在宅（自院通院） 3.施設入所 4.自院入院中 5.在宅（他院通院） 6.他院転院　（転院先または施設名）所在地　都・市・区　機関名　担当科名

⑫発症1カ月後のADL　1.不明 2.介助なし 3.一部介助 4.寝たり座ったりの状態で全面介助 5.寝たきりの状態で全面介助 6.死亡（令和　年　月　日）

⑬発症1カ月後の認知症の有無　1.不明 2.なし 3.軽度 4.中等度 5.高度

危険因子

⑭既往歴　高血圧 1.不明 2.なし 3.未治療 4.治療中 5.中断　糖尿病 1.不明 2.なし 3.未治療 4.治療中 5.中断　不整脈 1.不明 2.なし 3.未治療 4.治療中 5.中断　心房細動 1.不明 2.なし 3.未治療 4.治療中 5.中断　脂質異常症 1.不明 2.なし 3.未治療 4.治療中 5.中断

⑮たばこ　1.不明 2.吸わない 3.禁煙（1年以上） 4.1日20本以下 5.1日21本以上

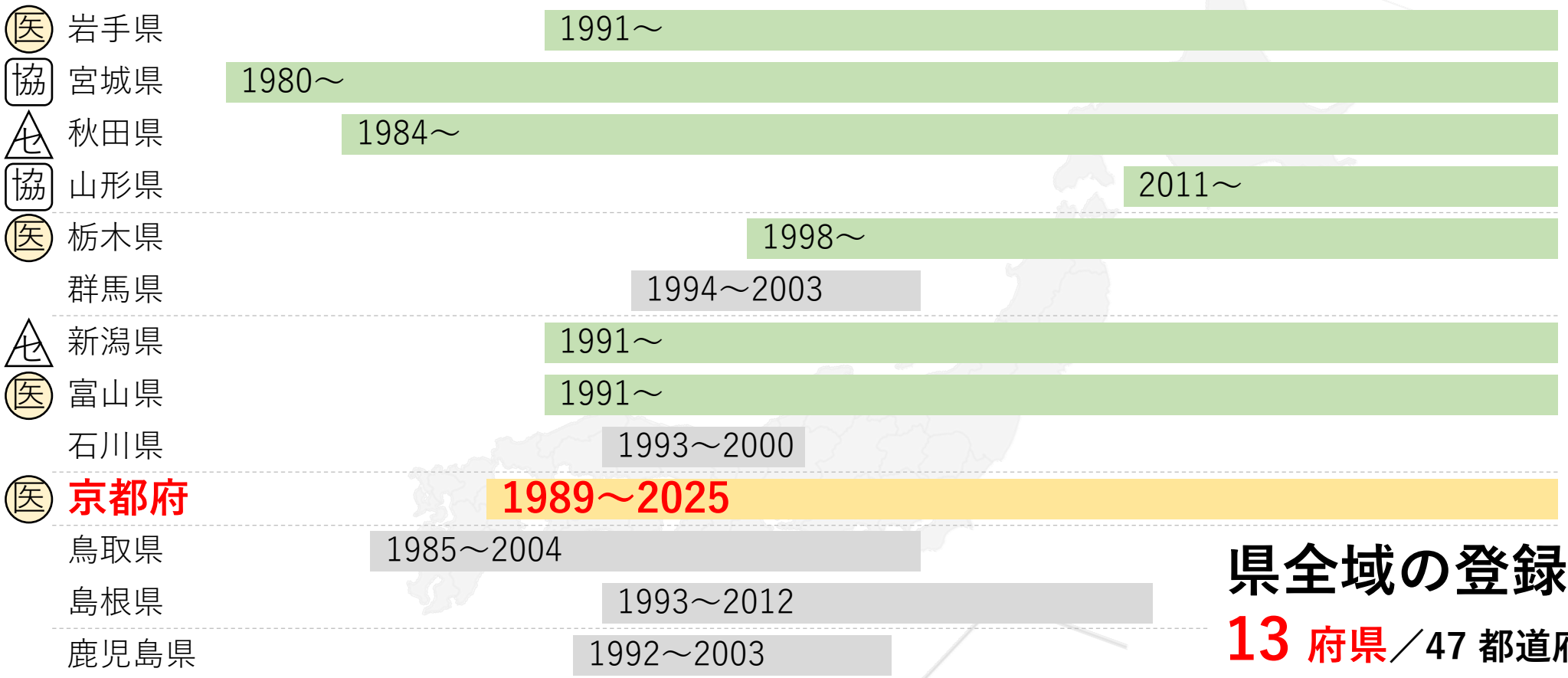
⑯酒　1.不明 2.飲まない 3.ときどき飲む 4.常時飲む

届出医療機関名　名称　（担当科名）　所在地　担当医名　TEL　（　）　届出年月日　令和　年　月　日

（問合せ先）　京都府医師会地域医療2課　脳卒中登録係（TEL 075-354-6113）

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代

本邦における脳卒中レジストリ





1994年 厚生省老人保健福祉局長通知
「脳卒中情報システム事業の実施について」

県全域の登録事業

13 府県／47 都道府県
(28 %)

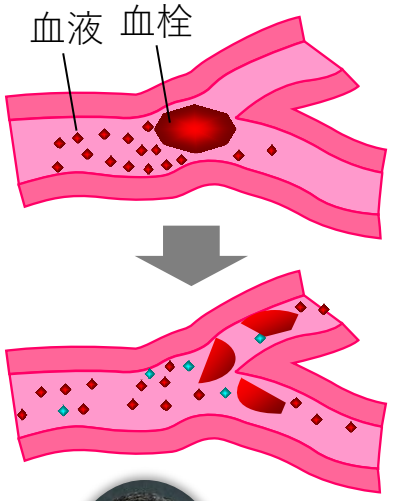
何を見ていたか？

脳卒中医

Patients

脳梗塞を**治**療したい！

血栓を溶かす！



血栓溶解薬 t-PA

tissue plasminogen activator

1991年 急性心筋梗塞

1996年 脳梗塞(≤3h)



Camilo R. Gomez

Time is brain !

不一致



共存協力

行　政

Population

地域集団を見たい

医療施策を考える



B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代

何を見ていたか？

脳卒中医

Patients

脳梗塞を**治**療できる！

血栓溶解薬 t-PA
tissue plasminogen activator

2005年 脳梗塞(≤3h)

2012年 (≤4.5h)

血栓回収療法 (カテーテル治療)

INTERNATIONAL STROKE CONFERENCE 2015

不一致



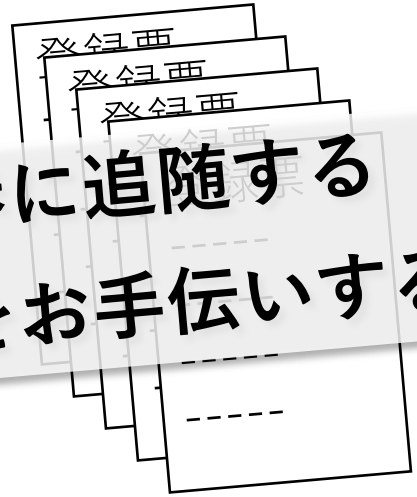
共存
協力

行　政

Population

地域集団を見たい

医療施策を考える



1. 医学の進歩に追随する

2. 登録作業をお手伝いする

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代

制度的イナーシャ

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代

「前年通りに登録を続けること」が、
摩擦が少なく、実績になる。

データ入力業務で手一杯となり、
データ活用に至らない。

脳卒中医　診療医

✓医学の進歩に追随せず、
価値の低いデータとなる。

行　政

✓医療施策への活用方法が
見出せない。

ご登録いただきありがとうございました

1989年
～2025年

195 施設

37 年間

55,656 例

2025年12月31日発症例をもって登録を休止

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代
2010年代

京都府脳卒中登録事業の業績

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀

京府医大誌　120(4)，225～231，2011.　225

＜特集「疾病登録」＞

脳卒中登録―京都府医師会脳卒中登録 20 年の経験

2011

島　村　　修

[1]老人保健施設はぎの里*
[2]京都府医師会脳卒中登録事業委員会



Registry of Stroke: Registry of Stroke in Kyoto Prefecture during Twenty Years

Osamu Shimamura

[1]*Institution for health and aged care "Hagino-Sato"*
[2]*Stroke Registry Study Group of Kyoto Medical Association*

Shigematsu *et al. BMC Neurology* 2013, **13**:87
http://www.biomedcentral.com/1471-2377/13/87

2013

BMC Neurology

RESEARCH ARTICLE　Open Access

Speech disturbance at stroke onset is correlated with stroke early mortality

Kazuo Shigematsu[1*], Hiromi Nakano[2], Yoshiyuki Watanabe[3], Tatsuyuki Sekimoto[4], Kouichiro Shimizu[5], Akihiko Nishizawa[6], Atsushi Okumura[7] and Masahiro Makino[8]

Original article

2013

Vomiting should be a prompt predictor of stroke outcome

Kazuo Shigematsu,[1] Osamu Shimamura,[2] Hiromi Nakano,[3] Yoshiyuki Watanabe,[2] Tatsuyuki Sekimoto,[4] Kouichiro Shimizu,[5] Akihiko Nishizawa,[6] Masahiro Makino[2]

Shigematsu *et al. BMC Neurology* (2015) 15:44
DOI 10.1186/s12883-015-0297-1

2015

BMC Neurology

RESEARCH ARTICLE　Open Access

Influences of hyperlipidemia history on stroke outcome; a retrospective cohort study based on the Kyoto Stroke Registry

Kazuo Shigematsu[1*], Yoshiyuki Watanabe[2], Hiromi Nakano[3] and on behalf of the Kyoto Stroke Registry Committee

BMJ open

2013

Characteristics, risk factors and mortality of stroke patients in Kyoto, Japan

Kazuo Shigematsu,[1] Hiromi Nakano,[2] Yoshiyuki Watanabe,[3] Tatsuyuki Sekimoto,[4] Kouichiro Shimizu,[5] Akihiko Nishizawa,[6] Masahiro Makino,[7] Atsushi Okumura,[8] Kazuhiko Bando,[9] Yasushi Kitagawa[10]

BMJ open

2013

The eye response test alone is sufficient to predict stroke outcome—reintroduction of Japan Coma Scale: a cohort study

Kazuo Shigematsu,[1] Hiromi Nakano,[2] Yoshiyuki Watanabe[3]

BMJ Open

2015

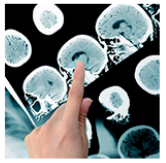
Weekly variations of stroke occurrence: an observational cohort study based on the Kyoto Stroke Registry, Japan

Kazuo Shigematsu,[1] Yoshiyuki Watanabe,[2] Hiromi Nakano,[3] on behalf of the Kyoto Stroke Registry Committee

CareNet　いい情報は、明日からの診療を変えていく

脳梗塞の発症しやすい曜日～京都府のコホート研究

提供元：ケアネット　ツイート　いいね！ 203　公開日：2015/04/03



脳卒中発症の時間的なパターンを知り、可能性のあるトリガーを探索することは、脳卒中発症率を減少させるために重要である。脳卒中が特定の曜日に頻繁に発症する場合、何らかの「トリガー因子」が脳卒中を誘発するものと考えられる。京都府医師会脳卒中登録事業委員会では、11年間にわたる病院ベースの脳卒中登録より、曜日による脳卒中発症率の違いを調査した。その結果、脳梗塞においては、年齢・性別にかかわらず日曜日より月曜日のほうが発症率が高かった。著者らは、脳梗塞では発症の「トリガー因子」が存在するという仮説を提案している。BMJ Open誌2015年3月24日号に掲載。

1999年1月～2009年12月の間に京都府全体で1万3,788例の脳卒中患者が特定され、京都府医師会脳卒中登録（KSR）に登録された。脳卒中を発症した曜日に基づいて患者

TV TOKYO　BSテレ東



脳梗塞検定　2019/8/8

脳梗塞が最も発症しやすい曜日は「月曜日」

・曜日別の脳卒中の発症率は月曜日が高いと言われている。

脳梗塞での死亡率が最も低い県は「沖縄県」

・沖縄県が低い理由として考えられるのが塩分の摂取量
　脳梗塞発症の大きな要素の１つは塩分の摂りすぎなどによる高血圧と言われており、沖縄県は塩分摂取量も47都道府県で最も少ない

Tomii Clinic

時代が動き、法律ができた

1. 『**難病**法』難病の患者に対する医療等に関する法律
   - ✓ 2014年5月23日成立、2015年1月1日施行

2. 『**脳卒中**・循環器病対策基本法』
   健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法
   - ✓ 2018年12月10日成立、2019年12月1日施行

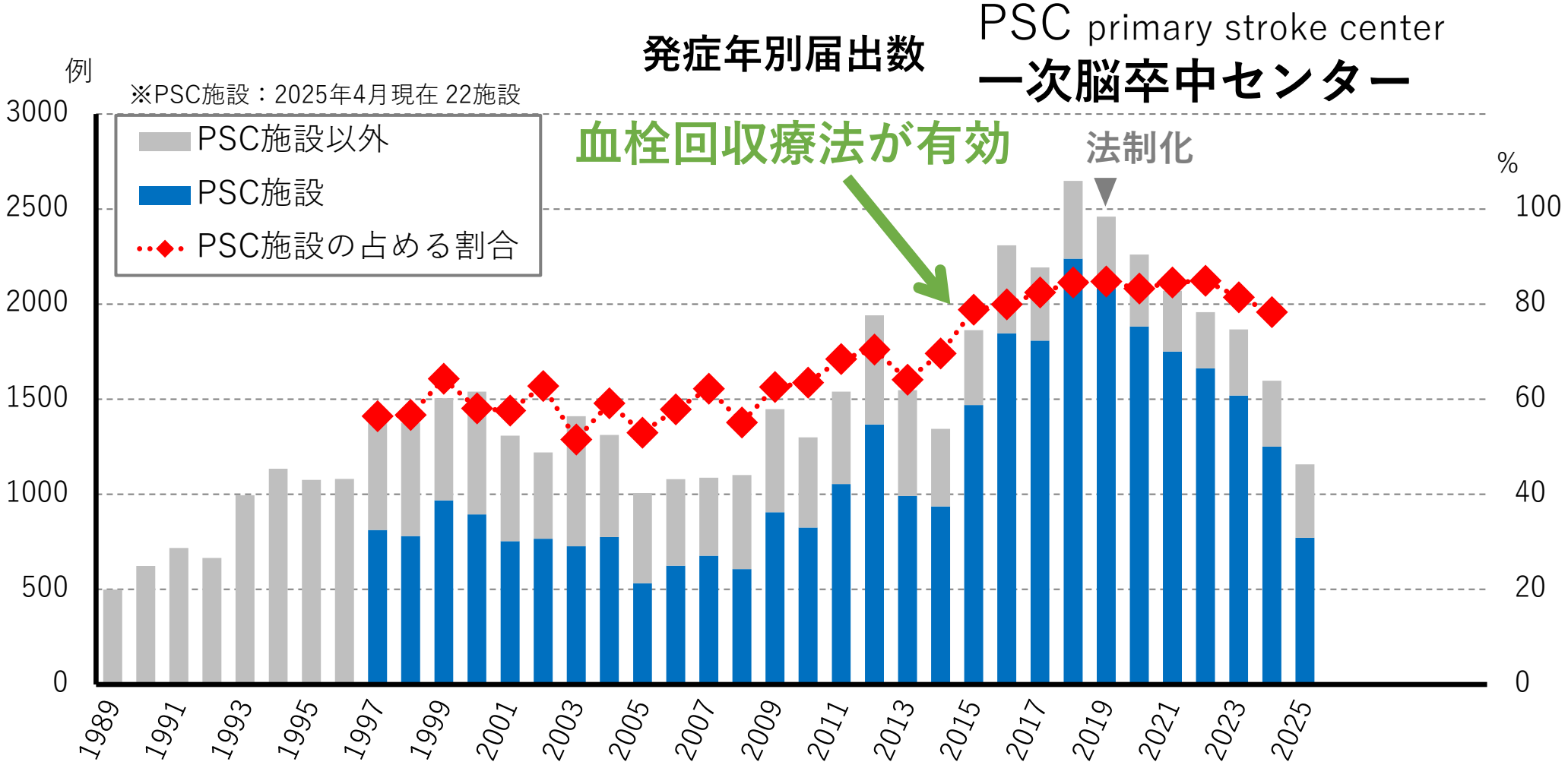
3. 『**認知症**基本法』共生社会の実現を推進するための認知症基本法
   - ✓ 2023年6月14日成立、2024年1月1日施行

4. 『**高次脳機能障害者**支援法』
   - ✓ 2025年12月16日成立、2026年4月1日施行

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代
2010年代

法律に基づく全国共通ルールに
各地域で創意工夫を加える

血栓回収療法の適応が搬送先を決めた



B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代
2010年代

そして、未来へ

健康福祉部
健康対策課

脳卒中登録事業
委員会

1988年　6月20日
準備委員会発足 開催 5回

1988年11月30日
登録事業委員会発足

2025年12月31日
新規症例登録終了

2025年

✓ なぜ休止するのか？

国においては、循環器病の診療情報を収集・活用する**全国規模のデータベース**の構築が推進され、本事業は、**移行**に向けた見直しを行う。

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代
2010年代
未来へ

京都府循環器病対策推進計画

これまで

健康福祉部
健康対策課

脳卒中**登録事業**
委員会

患者を救う
施策に活かす

これから

京都府保健医療計画　H30～R5　R6～11

└**京都府循環器病対策推進計画**　R4～5　R6～11

↑

(国)循環器病対策推進基本計画

B.C. 5世紀
B.C. 2世紀～
A.D. 2世紀
7世紀
17世紀
19世紀
1920年代
1960年代
1970年代
1990年代
2000年代
2010年代
未来へ

謝　辞

◆ ご登録いただいた各施設の先生方、事務職員の皆様

◆ 京都府医師会事務局の皆様

◆ 歴代委員 (敬称略)

中野 博美　清水 鴻一郎　大島 洋一
重松 一生　牧野 雅弘

岩本 芳浩　小野 仁之　杉山 博
塚原 徹也　伊地智 俊晴　新島 京
西澤 明彦　大岩 海陽　西原 毅
法里 高　垣田 清人　山本 康正
井上 靖夫　神奈木 俊子　濱田 春樹
奥村 厚　藤田 宗　渡辺 英俊
渡邊 能行　津田 治巳　池田 正之
関本 達之　秋口 一郎　河辺 泰徳
島村 修　笠井 祥子　宮田 健
武澤 信夫　久保 哲　宮原 忠夫

◆ 歴代担当理事・副会長 (敬称略)

廣嶋 芳城　谷口 洋子

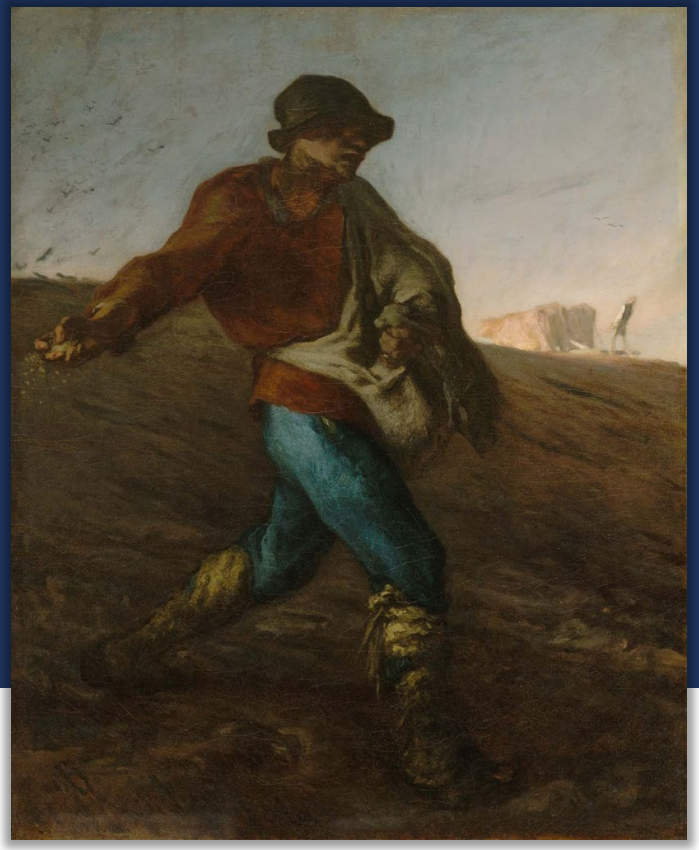
尾池 文隆　高橋 真　豊田 友恵
武田 貞子　上原 春男　早川 久仁子
髙橋 滋　藤村 聡　立入 克敏
北川 靖　俣野 憲一　藤井 一彦
古家 敬三　森 洋一　福田 濶
松井 道宣　髙尾 嘉興　小西 正昭
坂東 一彦　岡林 正純　西 祥太郎
西村 幸秀　油谷 桂朗　垣田 敬治
久山 元　岡本 利彦　浦出 晃則
橋本 京三　大藪 博　馬場 満男
關 透　山﨑 昇

1990年代
2000年代
2010年代

2026.10.04 @京都府医師会館
第52回京都医学会 ランチョンセミナー

脳卒中医療 原点回帰 そして未来へ
～京都府脳卒中登録事業37年間のキセキ～
軌跡・奇跡・鬼籍

ご静聴いただき、
ありがとうございました。



ジャン＝フランソワ・ミレー
《種をまく人》
1850年、山梨県立美術館収蔵

京都府脳卒中登録事業委員会　委員長
医療法人 冨井医院　内科・脳神経内科
冨井　康宏

Tomii Clinic